平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年２月４日

上 場 会 社 名	日機装株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	6376	URL	http://www.nikkiso.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)甲斐　敏彦	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営企画部長	(氏名)西脇　章	(TEL)03(3443)3711
四半期報告書提出予定日	平成25年２月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	69,133	10.6	3,810	5.7	4,397	64.6	3,949	244.6
24年３月期第３四半期	62,527	5.6	3,605	26.2	2,670	93.4	1,145	33.4

（注）　包括利益　　25年３月期第３四半期　4,240百万円(467.2 %)　24年３月期第３四半期　747百万円(12.3 %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	51.19	51.18
24年３月期第３四半期	14.61	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	121,637	53,674	43.2
24年３月期	118,234	50,392	41.8

（参考）　自己資本　　25年３月期第３四半期　52,512百万円　　24年３月期　49,376百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	6.00	―	6.00	12.00
25年３月期	―	6.00	―		
25年３月期(予想)				6.00	12.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	7.6	7,000	6.4	6,500	2.0	5,200	56.8	67.41

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　１社（社名）創光科学㈱　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　有
④　修正再表示　　：　無

(注)第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.5「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期３Ｑ	80,286,464株	24年3月期	80,286,464株
②　期末自己株式数	25年3月期３Ｑ	3,147,876株	24年3月期	3,133,216株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期３Ｑ	77,145,794株	24年3月期３Ｑ	78,428,506株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 5
３．四半期連結財務諸表 ……P. 6
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 8
四半期連結損益計算書 ……P. 8
四半期連結包括利益計算書 ……P. 9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P. 10
（４）セグメント情報等 ……P. 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期の当社グループの事業環境は、工業部門では、引き続き原油価格が高水準を保っていることや、クリーンエネルギーとしてLNGの需要が高まっている中で、世界的にエネルギー関連投資が活発化しており、LEWA製品やLNG用ポンプの受注、売上が好調を維持しています。医療部門では、医療機関の省力化ニーズの高まりや透析治療の高度化が進む中で、新型透析装置の売上が依然、順調に伸長しました。

この結果、受注高75,893百万円（対前年同期比3.6％増）、売上高69,133百万円（同10.6％増）、営業利益3,810百万円（同5.7％増）となり、年末にかけての円安進行による為替差益もあり経常利益は4,397百万円（同64.6％増）、また、旧本社等の売却による固定資産売却益2,649百万円を計上したことから四半期純利益は3,949百万円（同244.6％増）で、増収増益となりました。

なお、旧本社等の売却資金は、生産拠点の再編関連の設備投資などへの有効活用を予定しています。

◇セグメント別の状況

（単位:百万円）

		前第３四半期	当第３四半期	増減金額	増減率
受注高	工業部門	40,797	39,902	△895	△2.2%
	インダストリアル	33,502	31,166	△2,336	△7.0%
	精密機器	4,278	4,654	＋375	＋8.8%
	航空宇宙	3,016	4,081	＋1,065	＋35.3%
	医療部門	32,429	35,991	＋3,562	＋11.0%
	合計	73,226	75,893	＋2,666	＋3.6%
売上高	工業部門	32,544	34,277	＋1,732	＋5.3%
	インダストリアル	25,509	26,187	＋677	＋2.7%
	精密機器	4,027	3,983	△44	△1.1%
	航空宇宙	3,007	4,106	＋1,098	＋36.5%
	医療部門	29,983	34,856	＋4,873	＋16.3%
	合計	62,527	69,133	＋6,605	＋10.6%
セグメント利益	工業部門	2,839	1,272	△1,567	△55.2%
	医療部門	3,218	4,975	＋1,756	＋54.6%
	調整額	△2,452	△2,437	＋15	―
	合計	3,605	3,810	＋204	＋5.7%

≪工業部門≫

工業部門は、その取扱製品により、インダストリアル事業本部、精密機器事業本部および航空宇宙事業本部の３事業本部に区分しています。

＜インダストリアル事業本部＞

ポンプ関連は、オイル＆ガス業界向けにLEWA製品の受注、売上が引き続き順調に推移しました。LEWA社では生産能力の増強を急いでいます。またLNG用ポンプは前年同期に大口の受注を計上していたこともあり、受注高は前年同期比で減少しましたが、受注環境は良好な水準を維持しています。

水質調整システムは、復興案件が一巡したうえ、原子力発電所の稼働停止や火力発電所のフル稼働に伴う定期検査の延期などの影響によりメンテナンス案件が減少していることなどから、事業環境が厳しくなっています。

この結果、インダストリアル事業本部の受注高は31,166百万円（対前年同期比7.0％減）、売上高26,187百万円（同2.7％増）となりました。

＜精密機器事業本部＞

粉体計測機器は、国内外で景気の先行き不透明感が継続する中、研究開発投資への慎重姿勢もあり、売上は伸び悩みました。電子部品製造装置は、電子部品市況が全般的に厳しい状況が継続している中で低調に推移しました。

深紫外線LED事業は、事業化の見極めに向けた探索活動を継続しています。

この結果、精密機器事業本部の業績は、一昨年11月に買収した日本ベル㈱の増収要因もありましたが、受注高は4,654百万円（対前年同期比8.8％増）、売上高は3,983百万円（同1.1％減）に留まりました。

＜航空宇宙事業本部＞

航空機業界は、燃料価格が高止まりする中で、燃費効率の高い新型機への買い替え需要や新興国の格安航空会社の需要などが拡大しており、主要製品である逆噴射装置関連部品（カスケード、ブロッカードアなど）の受注、売上は円高の影響はありますが好調に推移しました。

ベトナム・ハノイ工場では、計画どおりに建屋の増築が完了し、増産に向けて設備導入や認定取得を行なっています。

航空宇宙事業本部の受注高は4,081百万円（対前年同期比35.3％増）、売上高は4,106百万円（同36.5％増）となりました。

以上の結果、工業部門の受注高は39,902百万円（対前年同期比2.2％減）、売上高は34,277百万円（同5.3％増）となりました。LNG用ポンプの開発コスト増加、水質調整システム部門の減収や深紫外線LED開発会社の連結子会社化に伴う開発費用の計上などもあり、セグメント利益は1,272百万円（同55.2％減）となりました。

※工業部門では、インダストリアル事業を中心に納期が９月と３月に集中するため、第１四半期、第３四半期の業績は他の四半期に比べて低調に推移する傾向があります。

≪医療部門≫

＜メディカル事業本部＞

透析装置は、国内においては医療施設の省力化ニーズや新しく保険適用となった治療法に対応した機能への需要などを背景に、新型透析装置の売上が引き続き高水準に推移しました。海外では、円高の影響もあり東南アジアで伸び悩みました。中国では、９月より製造、販売を開始した合弁会社向けの部品販売が増加したこともあり、売上は前期比で増加しましたが、日中関係の動向については今後も影響を注視していきます。

消耗品は、診療報酬改定による競合激化などの影響からダイアライザーの売上は伸び悩みましたが、血液回路の売上は、新型装置の売上増加に伴って専用回路の需要が高まっていることなどから増加しました。

以上の結果、医療部門の受注高は35,991百万円（対前年同期比11.0％増）、売上高は34,856百万円（同16.3％増）、セグメント利益は4,975百万円（同54.6％増）と増収増益になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の資産合計は121,637百万円となり、前期末に比べて3,403百万円増加しました。受注増加により棚卸資産が増加したことなどが主な要因です。

当第３四半期末の負債合計は67,963百万円となり、前期末に比べて121百万円増加しました。有利子負債が減少した一方で、仕入債務が増加したことなどが主な要因です。

当第３四半期末の純資産合計は53,674百万円となり、前期末に比べて3,281百万円増加しました。利益計上に伴う利益剰余金の増加が主な要因です。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月31日に修正開示した予想数値からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、重要性が増したため、創光科学株式会社を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による、当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,817	16,005
受取手形及び売掛金	30,434	28,356
商品及び製品	4,856	5,566
仕掛品	4,759	7,781
原材料及び貯蔵品	6,665	7,382
繰延税金資産	1,283	1,244
その他	1,616	1,898
貸倒引当金	△461	△555
流動資産合計	62,971	67,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,289	9,266
機械装置及び運搬具（純額）	2,696	2,853
土地	4,081	3,572
リース資産（純額）	155	156
建設仮勘定	361	1,565
その他（純額）	1,348	1,258
有形固定資産合計	18,933	18,672
無形固定資産		
のれん	23,259	22,495
特許権	233	222
電話加入権	43	43
リース資産	48	63
その他	1,592	2,069
無形固定資産合計	25,176	24,893
投資その他の資産		
投資有価証券	9,518	8,980
長期貸付金	2	4
繰延税金資産	192	178
破産更生債権等	21	17
前払年金費用	349	172
その他	1,087	1,052
貸倒引当金	△20	△17
投資その他の資産合計	11,151	10,389
固定資産合計	55,262	53,956
資産合計	118,234	121,637

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,621	13,443
短期借入金	6,867	11,801
1年内償還予定の社債	6,000	－
1年内返済予定の長期借入金	4,046	8,774
リース債務	82	79
未払金	1,819	2,140
未払消費税等	143	10
未払法人税等	1,886	874
未払費用	1,275	1,588
賞与引当金	1,615	840
役員賞与引当金	47	32
設備関係支払手形	36	3
その他	2,042	3,329
流動負債合計	38,485	42,918
固定負債		
長期借入金	27,418	22,053
リース債務	129	150
繰延税金負債	1,155	2,178
退職給付引当金	368	401
役員退職慰労引当金	159	159
長期預り保証金	12	12
その他	110	88
固定負債合計	29,355	25,044
負債合計	67,841	67,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,700	10,700
利益剰余金	34,619	37,643
自己株式	△2,276	△2,289
株主資本合計	49,587	52,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,658	1,803
為替換算調整勘定	△1,869	△1,889
その他の包括利益累計額合計	△210	△86
新株予約権	－	14
少数株主持分	1,016	1,147
純資産合計	50,392	53,674
負債純資産合計	118,234	121,637

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	62,527	69,133
売上原価	41,995	46,792
売上総利益	20,532	22,341
販売費及び一般管理費	16,927	18,530
営業利益	3,605	3,810
営業外収益		
受取利息	27	38
受取配当金	190	195
持分法による投資利益	16	37
受取賃貸料	114	110
為替差益	－	653
その他	243	223
営業外収益合計	592	1,258
営業外費用		
支払利息	664	587
為替差損	799	－
その他	62	84
営業外費用合計	1,527	671
経常利益	2,670	4,397
特別利益		
固定資産売却益	20	2,649
投資有価証券売却益	1	－
受取和解金	－	85
特別利益合計	21	2,735
特別損失		
固定資産除却損	9	31
固定資産売却損	0	－
子会社株式売却損	22	－
投資有価証券評価損	395	221
ゴルフ会員権評価損	－	0
本社移転費用	56	－
システム移行関連費用	70	150
特別損失合計	553	402
税金等調整前四半期純利益	2,138	6,729
法人税等	847	2,636
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	4,092
少数株主利益	144	143
四半期純利益	1,145	3,949

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	4,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	143
為替換算調整勘定	△403	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	0
その他の包括利益合計	△543	147
四半期包括利益	747	4,240
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	4,074
少数株主に係る四半期包括利益	80	166

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	32,544	29,983	62,527	―	62,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	32,544	29,983	62,527	―	62,527
セグメント利益	2,839	3,218	6,058	△2,452	3,605

（注）１　セグメント利益の調整額△2,452百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	34,277	34,856	69,133	―	69,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	34,277	34,856	69,133	―	69,133
セグメント利益	1,272	4,975	6,247	△2,437	3,810

（注）１　セグメント利益の調整額△2,437百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。